

Interview

チェロ 久良木 夏海 Natsumi Kuraki vol.43



山形に来て文化的な趣味が増えた事が音楽のプラスに

♪楽器を始めたきっかけは?

4歳のクリスマスから毎年サンタさんにヴァイオリンが欲しいとお願いをしていたのですが、なかなか貰えず、6歳の時にチェロなら良いですよと習えることになりました。今思うとヴァイオリンより性に合っていて、サンタさんには感謝しています。

♪オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは?

オーケストラが初めて楽しいと思ったのは、大学4年の夏、芸大のオケでドイツに演奏旅行に行った時です。その時のメンバーが素晴らしい、1ヶ月弱高関先生とみっちり練習があり、ドイツの合唱団と演奏した人生初めての第九の感動は今でも覚えています。それまでソロや室内楽に時間を費やしていたのを大きく方向転換して、卒業後は桐朋学園オーケストラアカデミーで勉強しました。

♪山形でお気に入りのもの、場所はありますか?

このインタビューを毎回楽しみに見ていて、山形の良い所はたくさん出たと思うので、山形に来て良かった事は異業種の友人・知人が増えた事かなと思います。東京にいた頃は、音楽の狭い世界だけで生きていて時間の余裕もなかったのですが、映画を見るようになったり、茶道を習い始めたり、文化的な趣味が増えた事も音楽にプラスになっています。

♪好きな作曲家・曲は?

オケにいると自分で演奏したい曲を選べる訳ではないので、出来るだけその時弾いている曲を好きになるよう心がけていますが、今一番弾きたい作曲家はR.シュトラウスです。昨年プッチーニの「トゥーランドット」で初めて本格的なオペラを演奏出来たことも印象的で、オペラやバレエの世界も知りたいなと思いました。

♪チェロの魅力は何ですか?

室内楽作品もたくさんあり、ソロのレパートリーもそこそこあり、楽器人口もそこまで多くないので、色々な意味でオイシイ楽器だと思います。大人になってから始める趣味の楽器としてもおすすめです。

♪好きなチェロ奏者は?

中学時はロストロポーヴィッチ、高校大学時はスティーヴン・イッサーリス、今音が好きなのはアントニオ・メネセスとクレメンス・ハーゲンです。

運の良い人生だったと思うのですが、自分の習ってきたチェロの先生方に出会えた事も大きいです。もし楽器を勉強している学生さんがこれを見ていたら、上達の為に一番必要な事は、良い先生に早く出会う事だと思います。

♪使用している楽器について教えてください。

中学時代からつい最近まで、ヴィットリオ・フォルマジアを使っていました。誰よりも苦楽を共にしてきたので、涙のお別れでした。今は、新しい相棒フランチェスコ・ビソロッティと早く仲良くなって、また新たな景色を見たいなとワクワクしています。

♪休みの日の過ごし方は?

入団してすぐにソロ・リサイタルをしたり、室内楽のコンサートもたくさんさせてもらっています。

今は、月一回一曲ずつバッハの無伴奏チェロ組曲を演奏するシリーズを開催しています。それと連動して、自分のYouTubeチャンネルを立ち上げて、不慣れなパソコンで編集作業をしたりホームページを更新したりしています。

♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

2012年6月に山形に来て、もうすぐ10年目になります。続けてこられたのは偏にお客様の応援のお陰で、心より御礼申し上げます。今後とも山響共々ご愛顧の程よろしくお願ひいたします。